会議議事録

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名 | 令和4年度職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進事業（２）教職員の資質能力向上の推進②教職員研修プログラムの構築 |
| 代表校 | 一般社団法人全国専門学校教育研究会 |

|  |  |
| --- | --- |
| 会議名 | 第5回ICT活用WG |
| 開催日時 | 令和5年1月23日（月）　16時00分～17時00分 |
| 場所 | オンライン開催 |
| 出席者 | 事業責任者：岡村　慎一委　　　員：猪俣　昇、合田　美子、長瀬　あゆみ、中田　明子　　　　　　　　　　　　　　　合計5名 |
| 議題等 | 〇プログラム開発振り返り（猪俣）成果物については、前回の委員会で確認した通りでプログラムとしたい。・カリキュラム・シラバス・教材（スライド、指導マニュアルをノートに記載）・（サンプルとして）Google Classroomで開設した場とケーススタディ個人ワークシート、ケーススタディGワークシート・事前課題内容（eL教材含む、専用シート）・事後課題内容（専用シート）・評価基準（効果測定シート）これら一連のプログラムをみて意見をお願いします。・研修講師養成プログラムは2023年度については扱わないということであるが、研修事業として普及していくためには、このプログラムは不可欠と考える。（岡村）・事前課題についてのボリューム感がやはり大きい印象です。また、当日の事前課題発表については、全員の発表をすることが必要なのか。いくつかのパターンに分かれるのではないか。もしもいくつかのパターンに分かれるのだとすれば、もう少しコンパクトな研修運営ができるような気がします。（長瀬）・やはり、事前課題レポートの設問表現は改善すべき。こちらが意図している内容が受講者伝わらないケースが見受けられた。この事前課題レポートの発表時間が長くなってしまっていることで発表しない参加者のモチベーションの維持が難しい。今回は受講者数があまり多くないケースがおおかったので大きな支障はなかったが、この辺りは改善の余地がある。（中田）・以前にも申し上げまたが、何をするためにどんなデータを収集するのか。また集めたデータをどのように分析して学習内容や学習運営に反映させるのかといった訓練も必要ではないか（合田）・皆様のご意見をうけ、次回委員会までに現在の材料を整理し、しっかりとしたプログラムを提示したい。（猪俣） |
| 配布資料 | ・・ |

以上